

生産性倍増に向けた取り組み状況

(2024年度)

2025年6月 東京電力ホールディングス株式会社



目 次

1 .	生産性倍増に向けた主な取り組み事例・・・・・・・・・・	03
------------	-----------------------------	-----------

2 .	経営合理化の取り組み状況・・・・・・・・・・	06
------------	------------------------	-----------

生産性倍増
プロジェクト

カイゼン
事例紹介
01

カイゼン
ポイント
と結果

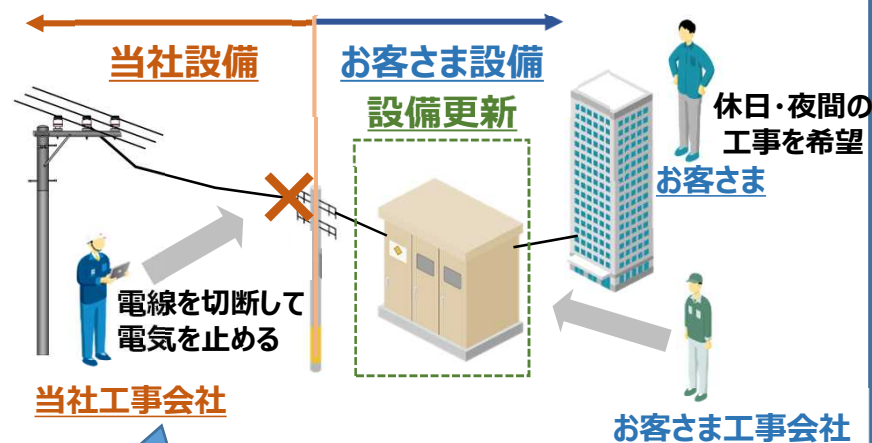
1. 生産性倍増に向けた主な取り組み事例 お客さま高圧設備更新工事のカイゼン

東京電力パワーグリッド株式会社

お客さまの高圧設備更新工事では、当社で手配した工事会社が当社設備の電線を切断し、お客さまの電気を停電したうえで、お客さまが手配した工事会社が設備更新工事を実施している。設備更新工事は、お客さま事業運営に影響のない休日・夜間で実施することが多く、当社は工事会社の手配に苦慮している。また、お客さまの工事会社は、当社の電線切断の作業終了まで手待ちが発生しているため、当社の電線切断工事をお客さまの工事会社で担っていただけるような新工法を確立し課題を解決。

<カイゼン前>

当社とお客さまが手配したそれぞれの工事会社が実施

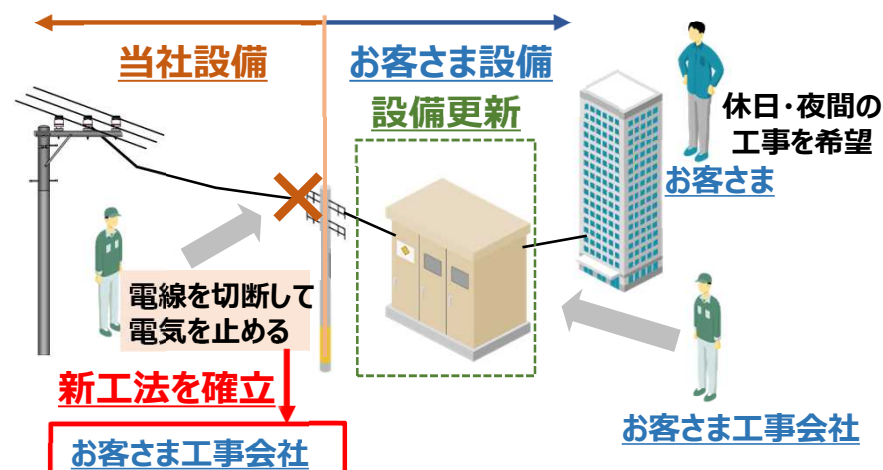


お客さまからの休日・夜間の工事希望に対して、工事会社の手配に苦慮

当社が電気を止めるまで、手待ちが発生

<カイゼン後>

お客さまが手配した工事会社の力を借りて当社工事を実施



当社の電線切断工事をお客さま工事会社が実施できるように治具を新規開発・新工法を確立し、当社工事をお客さま工事会社に担っていただくことで課題を解決

業務効率化：▲444分/件(2.6倍増) 全社大：▲48,840時間/年(▲61%)

コスト削減：▲1.6億円/年

生産性倍増
プロジェクト

カイゼン
事例紹介
02

カイゼン
ポイント
と結果

1. 生産性倍増に向けた主な取り組み事例

火気養生の常識を変える ～必要なところへササッと設置～

東京電力ホールディングス株式会社

溶接など火気を使用する場合には、火災防止のため火気養生をしてから作業を行います。本取り組みでは、火気養生の必要性に迫り、発想を転換、可燃物側の養生を立案し、関係機関との調整を経てルールの変更を実現、さらに火気養生材の開発による作業時間短縮および再利用による廃棄物削減を図ったものです。

①火気養生ルール の変更

after



ココ
だけ

可燃物側を養生

before



隙間なく作業エリアを養生

- ・番線で縫い合わせ
- ・アルミテープで天井に貼り付け

②火気養生の設置時間短縮

after



引掛けて
吊下げるだけ！

マグネット



簡単に連結！

ワンタッチ
火気養生材を開発！

- #### ③工具センターにワンタッチ火気養生材を配備 普及による効果の最大化と再利用による廃棄物削減

【効果】

- ①ルールの変更 : 養生作業80%削減 (1か所当たり、5日→1日)
- ②設置時間 : 作業時間78%削減 (271分 → 59分) ※高線量エリアの被爆線量95%削減
- ③工具センターへの養生材配備
 - 1)普及 : 7.5億円/年 (発電所全体削減ポテンシャル)
 - 2)再利用 : 廃棄物量95%削減

生産性倍増
プロジェクト

カイゼン
事例紹介
03

カイゼン
ポイント
と結果

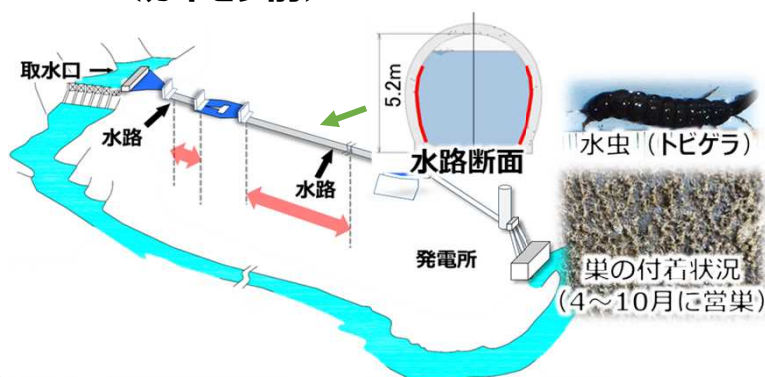
1. 生産性倍増に向けた主な取り組み事例

水力発電所における溢水電力低減のための水生生物防除方法

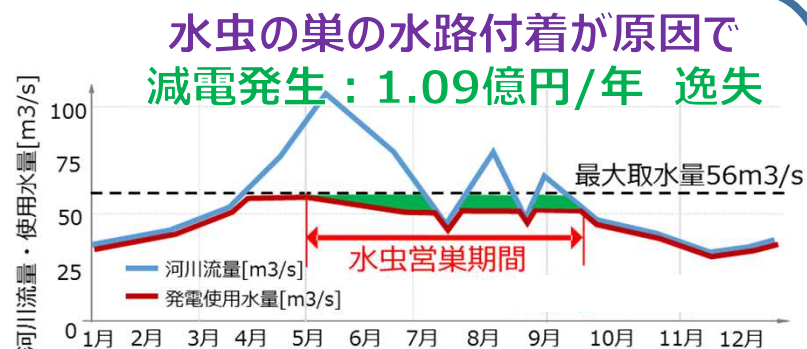
東京電力リニューアブルパワー株式会社

水生生物の付着による減電問題に対処するため、塗装による付着防止策を施工・検証。現場と主管が連携し、「水生生物をなくす」を目標に塗料メーカーを巻き込み、塗料改良と施工手順の効率化を進め、減電解消と作業停止短縮を実現。生産性5倍増を達成し、持続的なカイゼンで生産性を大幅に向上させた。

<カイゼン前>



水虫付着
↓
抵抗が増加
↓
通水障害



<カイゼン後>

水路を排水し人力や機械で水虫の巣を清掃



増収益：0.33億円/年

更なる
追求

海洋設備で実績のあるオイル膜を形成し、非接着性を有する「シリコン樹脂系のバイオックス塗装」の活用

- ①塗料メーカーとの協働的対話の強化により「湿潤面塗装可能」な塗料を開発
②施工会社との協働的対話の強化により施工手順の効率化、時間短縮



バイオックス塗料
(シリコン樹脂系)

工程	小工程	人・時間
高圧水洗浄	高さ3m×6mを洗浄	3人・9分
	資機材の移動	3人・1分
塗装 立ち馬使用	高さ3m×4.5mを塗装	4人・3分
	資機材の移動、塗料の補充	4人・1分30秒

増収益目標：1.09億円/年

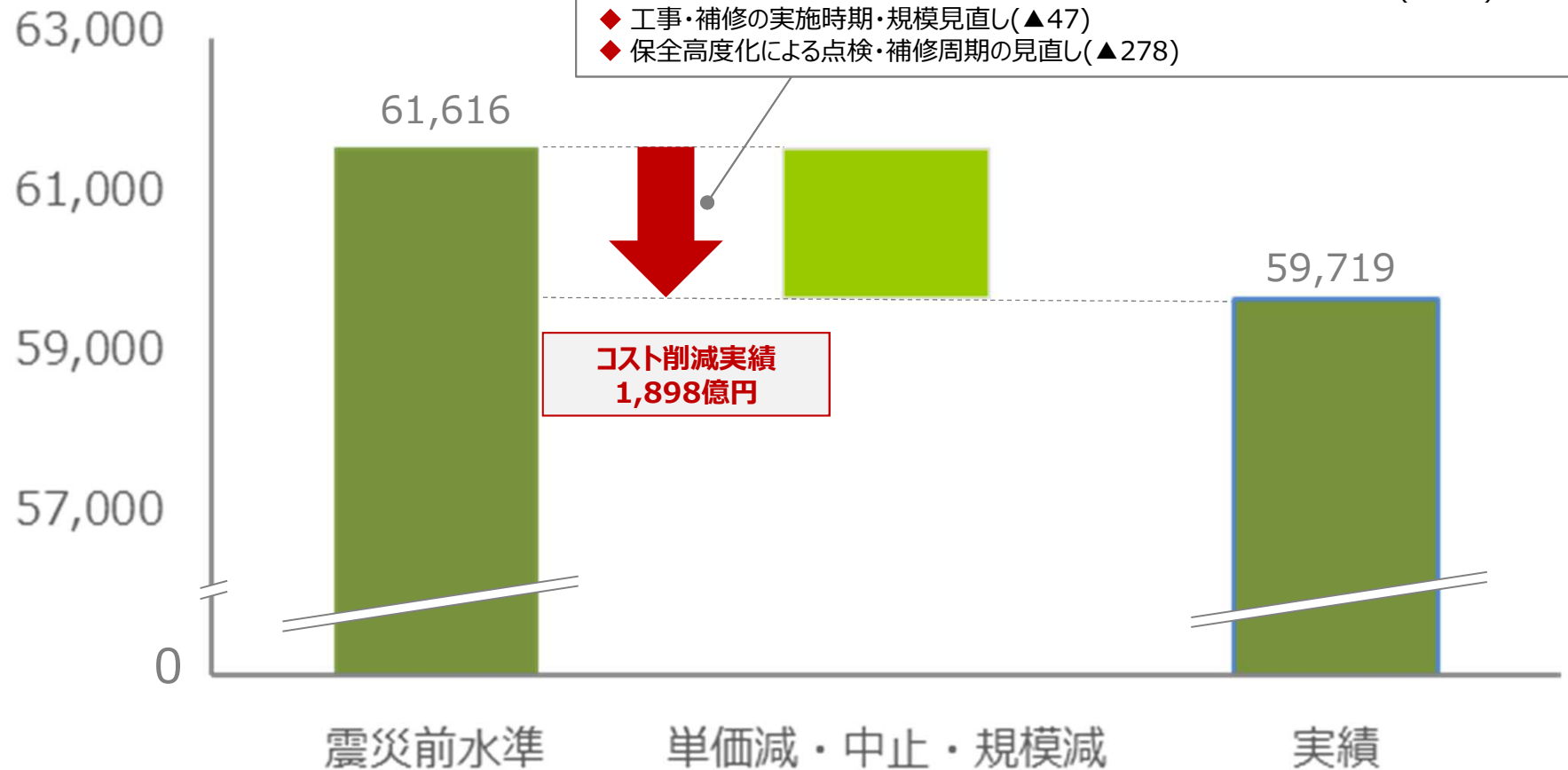
2. 経営合理化の取り組み状況

2024年度のコスト削減実績と施策別内訳

◆ 2024年度のコスト削減実績は1,898億円であり、目標(1,836億円)を62億円超過達成しました。

電気事業営業費用

(億円)

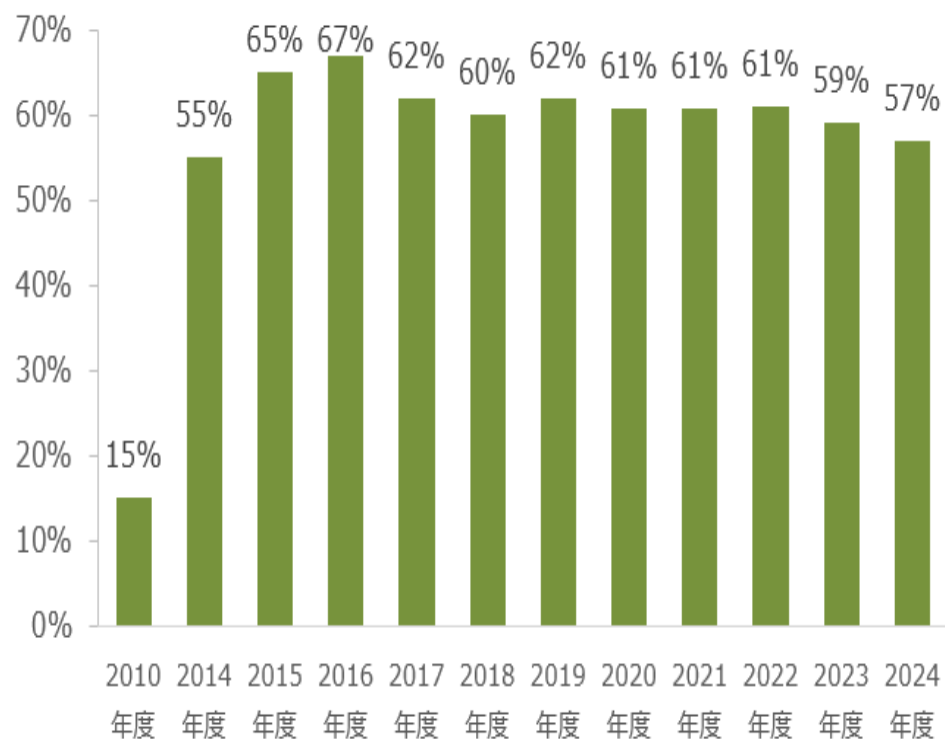


2. 経営合理化の取り組み状況

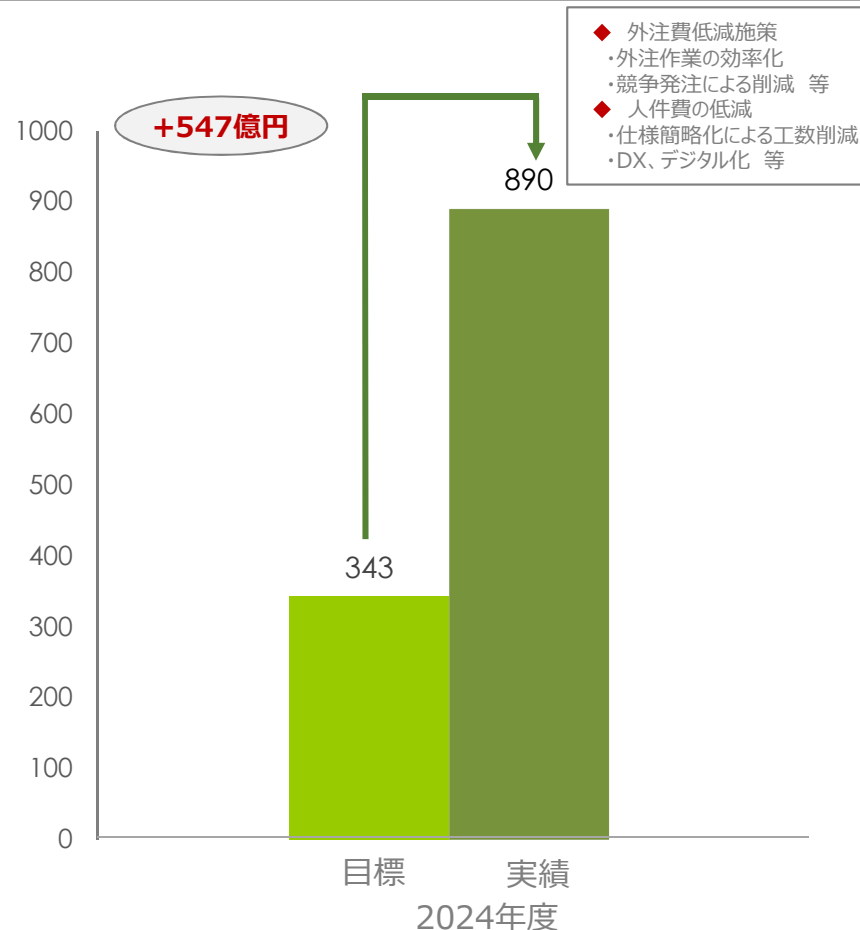
競争調達比率拡大・主要子会社のコスト削減実績

- ◆ 2024年度の競争調達比率は、概ね6割を維持しました。
- ◆ 主要子会社のコスト削減額は、2024年度目標343億円に対し、547億円超過達成しました。

競争調達比率実績



主要子会社のコスト削減実績



2. 経営合理化の取り組み状況

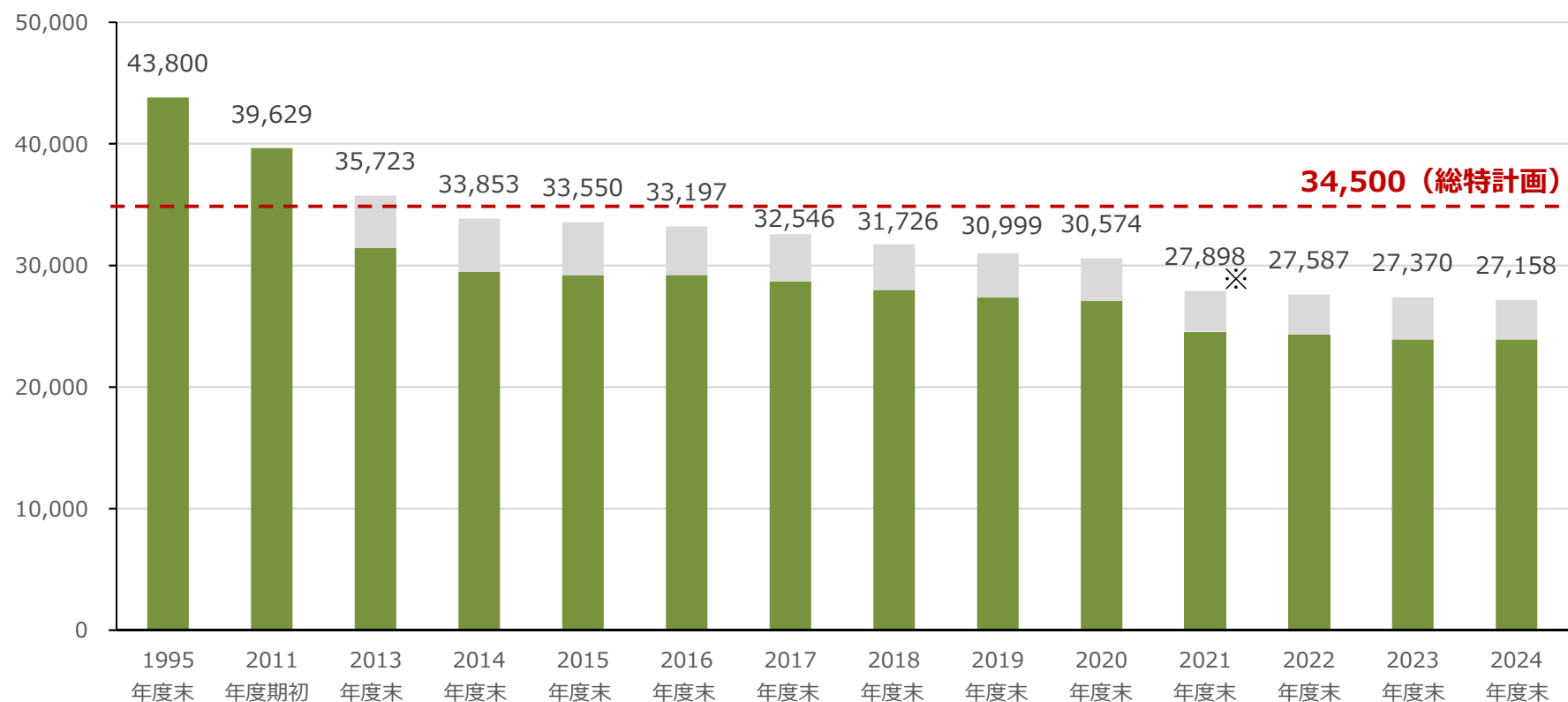
要員効率化について

◆ 「総特」における10年間の人員削減計画を前倒して達成した以降も、継続して効率的な事業運営に取り組んでおります。

要員効率化実績

要員数(人)

うち廃炉、賠償・復興推進



※2020年度末から2021年度末にかけての要員減には、燃料・火力事業等における(株)JERAへの事業統合に伴う同社への転籍影響（約2,300人）を含む